

## 鴻巣市環境基本計画(案)に対する意見の内容と市の考え方

No	該当箇所	意見の内容(原文掲載)	市の考え方
1	全体	クリスマスイルミネーションは期間を短くすべきだ。長くて一週間で良い。原発に反対すべき。用水路はコンクリート化は最小限にすべき。欧州に学ぶべき。	貴重なご意見をありがとうございます。今後事業を推進する上での参考にさせていただきます。
2	P28 市の取組の1行目	マイバック運動は、民間の流通小売業者を中心に実施されているように見受けられる。市の主催の環境イベントでも配布されたい。	市では、鴻巣市環境衛生連合会と協働で、市主催のイベントなどで啓発のためのティッシュを配布し、マイバック運動の啓発を行っています。
3	P29 市民の取組の5行目	これまでの生ごみ処理の方法として、段ボールコンポストについても検討されたい。	貴重なご意見をありがとうございます。ごみ減量の有効な方法ですので、市のホームページなどに掲載し、周知させていただきます。
4	P22 市の取組の8行目	庁用車を次世代型に転換してほしい。導入状況についてもわかっただらおしえてください。	市では、平成26年度から次世代自動車の導入を推進しています。現在、電気自動車3台(三菱ミニキャブ 1台、日産リーフ 1台、日産e-NV200 1台)、ハイブリッド車6台を導入しました。なお、鴻巣駅東口第一駐車場に無料で使用できる急速充電器を設置し、電気自動車の普及を推進しています。
5	P41 本計画の位置づけについて	行政・市民・事業者が協力して事業を推進するための組織があったほうが、良いと思います。調整に要する行政の負担も減るのではないですか。	市は、市民・事業者と協働で、本計画に掲げた重点取組などを実施しますが、その際、関連する課が連携して事業ごとに推進体制を取ります。なお、当該図は関連する法令や本市の各計画と本計画との関連性・整合性を説明するためのものです。
6	P40 コラムの4行目	埼玉県は、兵庫県に次いでこどもエコクラブ登録数が多いですが、鴻巣市も登録を増やすことが環境教育の第一歩と考えますがいかがですか？	こどもエコクラブへの登録は、次世代を担う子どもへの環境教育として有効であると考えていますが、現在鴻巣市の登録団体は、ありません。今後、市のホームページ等で参加を啓発してまいります。
7	P16 市の取組の9行目	自然調査は、計画の策定の基本となるものですので、市の責任において行うべきものと考えます。他との協働は、あくまで補完するもの。	自然環境調査は市の責任で実施すべきことと認識しています。市では、自然環境調査を業務委託しており、その一部において野鳥観察会を開催しています。これは、自然環境調査を市だけで実施するものに留めず、自然とふれあう機会の創出にもつなげたいことから、市民との協働の機会を設けています。
8	P26 クールチョイスについて	個々人や個別企業の取組みに期待するだけでなく、熊谷市のクールシェアの取組みのように町や地域の運動として普及する仕掛けが必要では	市では、環境に係る事業に参加すると市にポイントがたまり、抽選で「このとり伝説米」をプレゼントする「エコチェンジポイント鴻巣事業」を行っています。これは、環境活動へ参加する活動を普及しようとするものです。
9	全体として①	環境関連産業を創出できるようなプロジェクトを誘致したり、市としても助成するような総合的な施策を検討されたい。	本計画は、市民・事業者・市の協働のもと、地道な取組を継続する中で、環境意識の醸成を図ることができる内容を中心にまとめています。
10	全体として②	環境は、分野が広く専門的な知識も必要なことから、大学や専門の機関の指導を仰ぐ姿勢が必要だと思うので、ぜひその旨を記述されたい。	鴻巣市は、附属機関として識見者や専門行政機関などの委員で構成される環境審議会を有しており、計画の進捗状況の確認や施策に対する意見をいただいています。なお、その旨は第5章の2計画の進行管理で示しています。